

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【公開番号】特開 2019-47933 (P2019-47933A)
 【公開日】平成 31 年 3 月 28 日 (2019.3.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-012
 【出願番号】特願 2017-173584 (P2017-173584)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 2 日 (2020.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

所定条件の成立に基づいて、前記当り結果が導出される当り確率に関する設定情報を決定可能な特別モードを発生させる特別モード発生手段と、

前記特別モード中に所定の管理者操作を受けることによって、該特別モードの発生前に用いられていた当り確率と同一の当り確率に対応した設定情報を決定する特別決定手段と

と、

不正行為を検出可能な不正検出手段と、

前記不正検出手段によって不正行為が検出された場合に、不正報知を行う不正報知手段と、

を備え、

前記不正検出手段として、第 1 の不正行為を検出可能な第 1 センサ部と、第 2 の不正行為を検出可能な第 2 センサ部と、を有し、

前記特別決定手段により前記同一の当り確率に対応した設定情報が決定された場合に、前記第 1 センサ部と前記第 2 センサ部の両方での不正監視を行うことなく、前記第 1 センサ部と前記第 2 センサ部のうちの一方での不正監視を行う特定の不正監視状態に制御する不正監視状態制御手段をさらに備える

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、

所定の始動条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実

行する遊技機において、

所定条件の成立に基づいて、前記当り結果が導出される当り確率に関する設定情報を決定可能な特別モードを発生させる特別モード発生手段と、

前記特別モード中に所定の管理者操作を受けることによって、該特別モードの発生前に用いられていた当り確率と同一の当り確率に対応した設定情報（例えば設定 1 と設定 1 '）を決定する特別決定手段と、

不正行為を検出可能な不正検出手段と、

前記不正検出手段によって不正行為が検出された場合に、不正報知を行う不正報知手段と、

を備え、

前記不正検出手段として、第 1 の不正行為を検出可能な第 1 センサ部（例えば磁気センサ 3 0 0 3）と、第 2 の不正行為を検出可能な第 2 センサ部（例えば振動センサ）と、を有し、

前記特別決定手段により前記同一の当り確率に対応した設定情報が決定された場合に、前記第 1 センサ部と前記第 2 センサ部の両方での不正監視（例えば不正監視 A）を行うことなく、前記第 1 センサ部と前記第 2 センサ部のうちの一方での不正監視（例えば不正監視 B）を行う特定の不正監視状態に制御する不正監視状態制御手段をさらに備える

ことを特徴とする。

【**手続補正 3**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0 0 0 7

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0 0 0 7】

上記構成では、同一の当り確率に対応した設定情報の有効活用を図ることが可能となる（例えば、段落 1 7 7 1 や 1 7 8 1 の記載を参照）。